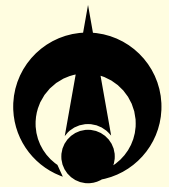


広島県をはじめ広島・山口両県にまたがる広島湾域6市16町の自治体と商工会議所・商工会で組織する「広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会」では、海から見た都市づくりをめざす「海生都市圏構想」実現のため、共生・分担・交流・連携をキーワードに積極的な事業を展開しています。このコーナーでは、湾域各市・町の様々な情報を毎月ご紹介しています。



柳井市

人口：「33,895人」
(平成14年3月末、住民基本台帳による)
面積：「127,86km²」
市の花：「つつじ」
「サルビア」
キャッチフレーズ：
「人・まち・自然の元
気都市 やない」

一人・まち・自然の元気都市 やない



金魚ちouchinの品不足の原因となった吊り広告

百五十年の歴史をもつ柳井の郷土民芸品「金魚ちouchin」をご存知ですか？
和紙と竹で作られた素朴なたずまいと、古さを感じさせないキョートなデザインで、全国の民芸品番付でも例年上位にランクされています。
昨年夏、その金魚ちouchinが品不足になる“異変”が起きました。
原因は、なんと電車の吊り広告。山口県が観光キャンペーンの一環として、金魚ちouchinなどをモチーフにした四連吊り広告を、首都圏や関西のJR電車の車内に掲げたところ、人気

が急騰。折りしも、県内では21世紀末来博覧会「山口きらら博」を開催中で、きらら博会場内でも装飾・販売などで大量の金魚ちouchinが必要だったため、一時は市内のみやげ物店の店頭からも愛くるしい姿が消えてしまいました。

柳井にいらつしやつた観光客の方々には、品切れでご迷惑をおかけしましたが、金魚ちouchinの吊り広告をきっかけに、大手の旅行代理店数社が柳井市を組み込んだ観光ツアーを相次いで企画するなど、昨年は金魚ちouchinさまさまの一年間でした。

柳井は古くは16世紀から、下関・尾道と並ぶ山陽道の三商都の一つとして知られてきました。大内氏の時代には「東方の海門」として対貿易の根拠地となり、江戸時代は「吉川領(岩国藩)の御納戸」と呼ばれたほどの商業地として栄え、水陸交通の要となりました。

当時の産物は、菜種油・木綿・金物・醤油などで、遠く大阪、九州あたりまで商圏が広がり、江戸時代の土蔵造り商家や醤油蔵が立ち並ぶ「白壁の町並み」は、往時の

名残をそのまま留めています。

日本最大級の金属鏡が出土した「茶臼山古墳」、約5万人の人数で賑わう「金魚ちouchin祭り」など、観光地としての魅力はほかにもたくさんあります。全国的な知名度という点では、まだまだ他の観光都市に遅れをとっています。観光振興を重要な産業施策の一つとして位置づけている市にとつて、金魚ちouchinの品不足事件は予想外のうれしい出来事でした。

今年3月には、観光都市として、もうひとつうれしいニュースが加わりました。

昭和38年8月以来、実に38年ぶりとなる柳井―別府航路の復活です。呉―広島―別府を結ぶ高速船「ソレイユ」が今年3月1日から柳井にも寄港、柳井・別府間が1時間50分で結ばれ、海路としては、柳井と四国・松山を結ぶフェリー航路に次ぐ、重要な観光ルートが確保されました。

瀬戸内海は、海生都市圏の共有財産です。これからも圏域内の方々と知恵を出し合いながら、その活用を図っていききたい



「ソレイユ」柳井港就航記念式典

柳井市のイベント情報

(平成14年)	(平成15年)		
柳井遊漁大会	6月下旬	阿月神明祭	2月11日(火)
金魚ちouchin祭り	8月13日(火)	伊陸天神祭	3月30日(日)
日積八朔大踊り	8月31日(土)		
柳井まつり	11月22日(金) 23日(土)	〔問合せ先〕 柳井市役所企画部企画課	
		TEL (0820)22-2111	
		E-mail kikaku@city-yanai.jp	